

展 示 文 書 目 録

No.	文 書 名	所 蔵 者
元禄・享保期の災害		
1	旱魃田方仕付褒美（元禄8年）	鷺宮町 相沢家文書1449
2	旱魃ニ付年貢引下ケ願書（享保16年）	吉田町 新井家文書2726
3	水損ニ付御物成永免除（享保16年）	大宮市 小島家文書133
寛保の水害		
4	八月二日大出水ニ付諸事書留覚帳（寛保2年）	熊谷市 松岡家文書
5	寛保二戌年八月出水ニ付御救并聞書帳（寛保2年）	鷺宮町 相沢家文書288
6	水所飢人夫食拝借小前證文（寛保2年）	熊谷市 野中家文書391
7	粕壁宿助郷当八月出水ニ付馬飼料御拝借金村負帳 （寛保2年）	春日部市 森泉家文書108
天明の浅間山噴火と飢饉		
8	浅間山騒動之事（天明3年）	熊谷市 久保家文書2175
9	砂降りニ付被害状況届出（天明3年）	熊谷市 久保家文書2333
10	今度大変ニ付願書（天明3年）	熊谷市 野中家文書481
11	卯飢饉村内老幼へ合力覚（天明3年）	毛呂山町 平山家文書480
12	浅間山噴火之図（天明3年）	熊谷市 野中家文書
13	浅間山噴火状況図（天明3年）	熊谷市 高橋祐治氏所蔵
14	天明三癸卯年穉一橋御領知郷村騒動記（天明3年）	日高町 堀口家文書157
15	豊歳出来穉（天明6年）	吉見町 鈴木家文書2060
16	飢饉ニ付御救願書（天明7年）	熊谷市 久保家文書2236
17	建部清庵著 民間備荒録（文政7年版）	坂戸市 林 茂美氏所蔵
18	社倉ニ付廻状	坂戸市 林家文書
19	社倉初穂村方寄穀帳（寛政元年）	坂戸市 林家文書
享和の水害		
20	大出水ニ付浚御普請願書（享和2年）	江南村 平山(小)家文書1931
21	大出水ニ付浚絵図（享和2年）	江南村 平山(小)家文書1929
22	用悪水堀欠崩箇所書上（享和2年）	加須市 大熊家文書956
23	田畑水腐書上（享和2年）	加須市 大熊家文書1167
文政の旱魃		
24	旱魃ニ付作柄届（文政4年）	浦和市 会田家文書4487
25	旱魃ニ付願書（文政4年）	鷺宮町 相沢家文書1466

26	当旱魃ニ付被下置候御称美金割合帳（文政4年）	熊谷市	久保家文書121
	天保の飢饉と救恤		
27	窮民合力米議定書（天保4年）	春日部市	中島家文書597
28	天保年中飢饉穀相場覚（天保4～9年）	花園村	持田(文)家文書4
29	久喜町打ちこわしニ付願書（天保7年）	鷺宮町	相沢家文書1326
30	御調ニ付極貧民書上帳（天保8年）	吉田町	新井家文書97
31	福島貞雄著 瞻民録（天保8年版）	県立浦和図書館所蔵	
32	武州下奈良村吉田市右衛門其外之者寄特之趣取調申上候書付（天保4）	県立文書館所蔵文書18	
33	凶年飢饉千代保苦連（天保8年）	熊谷市	野中家文書3126
34	郷藏普請仕様帳（安政5年）	春日部市	山口家文書49
	弘化の水害		
35	出水絵図（弘化3年）	春日部市	中島家文書258
36	出水ニ付高役金年延願書（弘化3年）	鷺宮町	相沢家文書670
37	水難極窮小前之者共へ御救米被下置候ニ付割渡請印帳（弘化3年）	鷺宮町	相沢家文書142
38	出水ニ付減免仮下知状（弘化3年）	熊谷市	野中家文書6152
	安政の大地震		
39	地震絵之写	浦和市	武笠(寛)家文書37
40	大地震出火図会（安政2年）	蓮田市	篠崎家文書4321
41	地震類焼場所明細書之写（安政2年）	幸手町	船川家文書
42	大地震ニ付御地頭所様へ書上帳（安政2年）	幸手町	船川家文書436
43	御地頭所様御拝借金小前割渡帳（安政2年）	幸手町	船川家文書437
44	地震騒動大概	幸手町立図書館文書61	
45	大震災ニ付見廻り方被仰渡組合村々議定（安政2年）	県立文書館所蔵文書	
46	震災風災ニ付諸職人手間代取極帳（安政3年）	春日部市	銚子口区有文書133
	安政の水害		
47	出水図（安政6年）	坂戸市	林 茂美氏所蔵
48	上分出水床上り家々見廻り記帳（安政6年）	坂戸市	林家文書
49	洪水床上り家々へ被下金割渡帳（安政6年）	坂戸市	林家文書
50	出水御届書扣（安政6年）	妻沼町	長島家文書
51	大嵐ニ付下小鹿野会合一件（安政6年）	吉田町	新井家文書740
52	当未年水損荒地巨細書上帳（安政6年）	吉田町	新井家文書477
53	大洪水ニ付絵図面差出下知書	花園村	持田(英)家文書542

埼玉の災害と飢饉年表（近世）

年号	西暦	事 項
天正19	1591	10. 浅間山大噴火、県北に降灰
元和3	1617	4. 暴風雨のため栗橋の渡、熊谷石上寺流失
寛永8	1631	3. 浅間山噴火、武蔵に降灰
14	1637	8. 大風雨で利根川、荒川大洪水
19	1642	5. 諸国飢饉、米価騰貴
慶安2	1649	5. 川越地方大霰降り、被害甚大
承応3	1654	11. 風害強く、川越地方で死傷者あり
延宝2	1674	5. 大風雨、利根川など氾濫
元禄14	1701	7. 荒川洪水で津田新田（大里村）の堤防決壊
宝永4	1707	11. 富士山噴火により降灰
享保8	1723	8. 大風雨で利根川、荒川洪水
16	1731	8.~9. 関東地方大風雨、各地で洪水
17	1732	4.~5. 関東一円凶作、米価騰貴、疫病流行
寛保2	1742	8. 関東諸国未曾有の大洪水、利根川、荒川など氾濫、 荒川平水位より約60尺上る 奥貫有山私財をもって40か所にわたり窮民救済
宝暦7	1757	4.~5. 関東大洪水、利根川、権現堂川決壊
明和3	1766	7. 関東洪水、神流川の堤防決壊
9	1772	8. 大風雨、権現堂川堤決壊
安永9	1780	6. 大雨続き、利根川、荒川など各所で堤防決壊
天明3	1783	7. 6月末より浅間山噴火、7月最大、秩父郡に4~5寸、県南で1寸程の降灰
4	1784	10. 一橋領の百姓、検見反対の強訴（日高町） この年関東地方凶作 吉田市右衛門、百姓へ金穀を賑救する。 幸手宿の名主らの窮民賑救を賞して、正福寺境内に「義賑窮餓之碑」を建てる
6	1786	7. 大雨続き利根川の堤防決壊、栗橋、岩槻など洪水
寛政元	1789	7. 吉田市右衛門、利根川修築費として500両献金
3	1791	8. 荒川筋菅沼の新堤残らず決壊
享和2	1802	7. 諸国洪水、権現堂堤決壊、二郷半領、松伏領水損甚しく2500人を救助
文化14	1817	5.~7. 武蔵諸国旱魃
文政4	1821	春より夏に至り大旱魃、宮前村（滑川村）の百姓が雨乞いをして碑をたてる
7	1824	8. 関東大風雨、荒川筋出水
天保4	1833	8. 幸手宿の米穀屋に打ちこわしが起る 吉田市右衛門救憐のため以後5年間に5000両献金
5	1834	5.~6. 加須、騎西に打ちこわしが起る 夏より秋、米価騰貴、飢饉
7	1836	8. 4月頃より雨多く、飢饉続く、岩槻町で米価騰貴による打ちこわしが起る
弘化3	1846	6. 長雨で利根川出水、二郷半領の堤が切れる 7. 神流川の氾濫で河道が変わり、毘沙土村（神川村）の一部が新町宿へ
安政2	1855	10. 江戸近辺大地震
6	1859	6. 関東大風雨、各地で洪水
慶応2	1866	米価騰貴により武州一揆が起る この年各地に一揆が発生

（「埼玉大百科事典」より）

昭和53年11月1日印刷
昭和53年11月6日発行

埼玉県立文書館

浦和市高砂3丁目1-22
TEL(0488)22-8312